

阿見新報

日本共産党
阿見町委員会
永井よしかず
鈴木57-7
887-4544
090-8502-3590
細田正幸
上条 1486
889-1474
ご購読を！
日本共産党
しんぶん赤旗
日刊紙
月3,497円
日曜版
月 823円

今、政治を変えるとき



今、若者を中心に「まともな政治を求めるデモ」が起きています。(左の写真を参照)

この間の国会で起きていることは、今まででは考えられない事柄が多すぎます。「私や私の妻が関係したということになれば、総理大臣も国会議員もやめる」と言った首相の答弁から始まった森友学園問題。首相官邸を守るために、口裏を合わせ、公文書を改ざんし、答弁をも拒否する。官僚とはいったい誰のための奉仕者なのか考えさせられます。

また、南スーダンPKO派兵に続きイラク派兵での日報の隠ぺいが明るみになり、自衛隊の深刻な隠ぺい体質が露呈しました。自民党は憲法に『自衛隊』を明記したい考えですが、シビリアンコントロール(文民統制)が出来ていない状況で自衛隊を明文化させる事は出来ません。厚生労働省でも「働き方改革」をめぐって労働時間のデータねつ造が発覚しました。

安倍政権のもとで、今何が起きているのか。ここまですべて混乱した政権をこのまま放置することは出来ません。今こそ安倍内閣を退陣させましょう！

みました。

一三八年の歴史をもつ吉原小は、明治十二年に現在の地に設立され、何度か名前を変えながら、今に至っています。昭和二十二年の第一回卒業生から数えて三五四七名の卒業生を排しています。



子どもたちの歌声で幕を閉じる実穀小

明治十三年に

創立した実穀小は『けやきつず祭』からもわかるとおり、大きなケヤキの木が子どもたちを見守ってくれました。また校訓である「至誠・勤労・協和」の文字からも、地域から愛された学び舎だったことがわかります。

吉原小学校と実穀小学校には「長い間本当にお疲れ様でした」と声をかけたい気持ちになりました。

四月一日には、新しく「あさひ小学校」が開校式を迎えました。

住宅街の中の小学校になるので、地上二階建ての校舎で、グラウンドは砂ぼこりが起らないように工夫がされています。体育館はミニバスケットコートが二面とれる広さがあり、多くの子どもたちが楽しく学び、遊ぶ姿も想像できます。

教室は木のぬくもりを感じさせる造りとなっており、リラクセスした気分での授業が受けられます。

春は別れと旅立ちの季節、子どもたちの健やかな成長を願いたくなります。



最後の演技となった吉原ソーラン



開校式と校旗(右)

平成三〇年

三月議会報告

一般質問 永井よしかず議員

〈質問事項〉

阿見町の子育て支援政策について

子どもの貧困問題が昨今騒がれています。今回は小中学生の「就学援助制度」の問題と、高校生以上が対象の「給付型奨学金制度」の2点について質問しました。

1点目の「就学援助制度」ですが、小学校や中学校の入学時には、かばんや制服、運動着など入学前に揃えておきたい物がたくさんあり、かなりの費用も掛かります。入学準備金の前倒し支給が必要になってきます。現在7月支給の入学準備金の支給日の変更を求めました。

2点目の高校生以上が対象の「給付型奨学金制度」ですが、県内で約4割の自治体が奨学金制度を実施しています。今、中学校を卒業するとほとんどの生徒が高校に進学します。家庭環境で進学を諦めさせるのではなく、行政がそこに手を差し伸べるべきだと思います。



下記のとおり議会報告会を開催します。多くの町民の方のご参加をお待ちしております。

記

日時：5月6日(日)
午前10時30分から12時
場所：中央公民館
3階第2会議室

参加費は無料です
当日は、日本共産党をまるごと知ってもらう企画も用意しています。

4月29日が祝日で中央公民館が休館のため、5月6日に議会報告会を変更しました。

日本共産党阿見町委員会

森友・加計学園問題にみる「うそや忖度」、防衛省にみる「日報隠蔽問題」、厚生労働省にみる「データのねつ造」と文部科学省による「教育への不当介入」。

今の安倍政権には、政権運営能力の無さが露呈しています。

今、この政府を退陣させるために、私たち国民は何をなすべきか！そのヒントを与えてくれる演説会

日本共産党大演説会

に是非お越しく下さい。

日本共産党書記局長の小池あきら参議院議員がお話します。

日時:5月13日(日) 午後2時から(開場午後1時)

会場:つくば国際会議場(入場無料・保育室あり)



参議院議員
小池あきら書記局長



参議院比例代表
(北関東)梅村さえこ



参議院茨城選挙区
予定候補大内くみ子

今年の12月に行われる茨城県議会選挙の候補者も勢ぞろいします

最後の卒業式

平成30年3月19日、吉原小学校の最後の卒業式が行われました。13名卒業生は、6年間の思い出を胸に巣立っていきました。卒業証書の授与では先生が一人一人の思い出を語り、卒業生もまた両親への感謝の言葉や、学校・先生・友達などの思い出を発表しました。

138年間、3547人の卒業生を輩出した「吉原小学校」お疲れさまでした。



町の回答では、入学準備金の入学前支給に関しては、近隣の実施されている自治体の状況を調査研究し導入に向けて前向きに検討していくことが話されました。2点目の給付型奨学金制度では、財政状況を勘案しながら検討していくという答弁でしたが、この2点とも、新町長の政策判断を踏まえながら…、という文言がっていました。

国民健康保険税について

国民健康保険制度がこの4月から県に移管し保険料が変更されます。日本共産党県議団の調査では17の市町村が値上げの予定で、その他のところは据え置きになる見込みです。

阿見町では、国保の税率改定を6月議会で行う予定で、今回の一般質問では、繰越金や支払準備金の活用で「値上げしない・させない」方策を質問しました。また、国保税の子どもの均等割を軽減することも質問しました。国保税の中の均等割は他の政管健保とは違い、子どもの被保険者1人につき2万5千円がかかります。子どもが多い分保険料も高くなります。高いと言われている国保税を引き下げるためにも、子どもの均等割の軽減を求めました。



—新町長 これからの課題—
阿見町長選から2か月が経ちました。争点となった道の駅は、予定地の伐根・伐採作業が終わった時点でストップになりました。これからはその町有地をどの様に活用するかが課題となります。また、あさひ小学校が開校しました。ご承知の通りこの小学校にはプールがありません。一般開放で施設見学をした保護者から、どうしてプールが無いのか、と質問されました。前町長が「必要ない」と言ったため作らなかったと話したら、30億円もかけて造った学校なのだからプールが無くてはおかしい、という声が出されました。これも新町長の課題だと思えます。

日本共産党町議会議員 永井よしかずの「議会よもやま話し」

2月18日の選挙で町長が替わりました。天田前町長は2期8年勤め、退職手当は1期毎に1,588万4千円(町の広報から)が支給されます。

天田前町長は平成22年3月の就任の挨拶で、町長退職金の廃止を掲げました。しかし一市町村長の退職金を廃止するには、県内の全市町村の同意による「規約改正」が必要なため、廃止することは出来ませんでした。廃止が無理だったので退職金の返納を考え、平成25年第3回定例議会のなかで「退職金の返納方法でございますが、私が公職を退いた後、町に直接納入する方法で実施したいと考えております」と答弁しました。また、平成28年第1回定例議会での質問には、「1期目の退職金は私はもらいました。退職金については、平成25年度第3回定例議会で答弁したとおりであります」と答弁しています。

今回、別の同僚議員が「町長退職金返還時期について」という一般質問をしました。天田町長の答弁は「町長退職金は私がもらうものですから、私に任せていただきたい」と何度も答弁し、平成25年度第3回定例議会の答弁には触れませんでした。

天田前町長の就任時の公約(退職金の返納)は果たして実現されるのでしょうか？

